

■ 特 集 ■

《大腸内分泌腫瘍 —WHO の考え方と日本の考え方》

序 説	福岡大学筑紫病院病理部	岩下 明德
I. 大腸内分泌腫瘍—他臓器内分泌腫瘍との相違	福岡県立病院病理診断科	海崎 泰治
II. 大腸の内分泌腫瘍の病理診断と諸問題—WHO 分類と日本分類の相違	新潟大学大学院保健学研究科検査技術科学分野	岩渕 三哉
III. 大腸内分泌細胞癌		
(1)大腸内分泌細胞癌の病理診断—WHO 分類と日本分類の相違	獨協医科大学埼玉医療センター病理診断科	伴 慎一
(2)大腸内分泌細胞癌の診断と治療	帝京大学医学部附属病院下部消化管外科	松田 圭二
IV. 直腸カルチノイド		
(1)直腸カルチノイドの病理診断	がん研有明病院病理部	河内 洋
(2)直腸カルチノイドの内視鏡診断と治療	北摂総合病院消化器内科	佐野村 誠
(3)直腸カルチノイドの外科治療	昭和大学横浜市北部病院消化器センター	工藤 進英
V. 大腸内分泌腫瘍の薬物療法	久留米大学病院癌集学治療センター	深堀 理
VI. 虫垂杯細胞カルチノイド		
(1)虫垂杯細胞カルチノイドの病理診断	福岡大学筑紫病院病理部	田邊 寛
(2)虫垂杯細胞カルチノイドの診断と治療	大阪鉄道病院消化器内科	清水 誠治

■ TOPICS ■

Efficacy of endoscopic balloon dilation for small bowel strictures in patients with Crohn's disease : A Nationwide, Multi-centre, Open-label, Prospective Cohort Study	福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター	平井 郁仁
HNRNPLL, a newly identified colorectal cancer metastasis suppressor, modulates alternative splicing of CD44 during epithelial-mesenchymal transition	愛知県がんセンター研究所がん病態生理学分野	佐久間圭一朗

===== 前号のご案内(『INTESTINE』Vol. 22 No. 5) =====

大腸腫瘍の分子生物学

大腸腫瘍の分子生物学とは—臨床医が理解するための基本／大腸腫瘍の分子異常と臨床／大腸腫瘍におけるエピゲノム異常／大腸腫瘍の分子異常と病理診断／癌の浸潤転移と分子生物学／遺伝性(家族性)消化管腫瘍における分子異常／炎症性発癌と分子異常／大腸癌化学療法と分子生物学／分子生物学から見た大腸腫瘍—課題と将来展望／分子生物学的解析のできた症例：SSA/P with cytological dysplasia の1例, SSA/P 由来 MSS 型大腸癌の1例, 拡大内視鏡診断と分子生物学的解析が可能であった TSA の癌化症例, Attenuated FAP が疑われた症例

— INTESTINE ●特集のご案内 —

Vol. 22 No. 1	IBD 関連大腸腫瘍の診断・治療 update
No. 2	内視鏡治療の偶発症と対策
No. 3	病態から考え出された IBD 治療の進歩
No. 4	炎症性腸疾患の粘膜治癒を考える
No. 5	大腸腫瘍の分子生物学
No. 6	大腸内視鏡の話題—機器と挿入法